

脂質と痛み止め…？

一見、何の関係もなさそうな組み合わせですが。

関係大ありです。

脂肪酸のアラキドン酸からできたものが、炎症（痛みなど）のもと。

炎症を引き起こす物質（炎症物質）ができないようにするお薬は、

「痛み止め」のお薬だよ。

教科書にも書いてあるけど、もう少し説明するよ！

アラキドン酸は、普段は中性脂肪（TG）やリポタンパク球の一部。

でも、必要があるとリパーゼで切り離されて、

後は酵素の働きで形を変えて炎症物質に変わっていく。

最初の「中性脂肪やリポタンパク球から取り出す（切り離す）」ところを

邪魔するのがステロイドに属するお薬。

後の「アラキドン酸から炎症物質に変える酵素」を邪魔するのが、

身近なロキソニンやインドメタシンだ！



ブランドサイトはこちら

痛みに、速戦力。

LOXONIN S

LOXONIN S plus

ロキソニンS 第1類医薬品

ロキソニンSプラス 第1類

ロキソニンS

解熱鎮痛薬 第1類医薬品 錠剤 15歳以上

1回1錠で痛みに速く効く。さらに飲みやすい小錠剤

添付文書 PDF 説明文

外国語製品情報 (PDF) (English, 繁体字, 简体)

他の税制対象アイテムも

税 経産省

2016年4月作成

ロキソニンS		ロキソニン
痛みに速く効く		速く効く+胃にやさしく
日本薬局方 ロキソプロフェンナトリウム錠		
販売名	ロキソニンS LOXONIN S	ロキソニン LOXONIN
成分・分量 (1錠中)	ロキソプロフェンナトリウム水和物 (無水物として 60mg) 68.1mg	ロキソプロフェンナトリウム (無水物として) 60mg 酸化マグネシウム
医薬品分類	第1類医薬品	第1類医薬品

このお薬の効果は？

- このお薬は、非ステロイド性消炎・鎮痛剤(NSAIDs)と呼ばれるグループに属する、解熱鎮痛薬です。
- このお薬は、痛み・炎症・発熱の原因物質「プロスタグランジン」の生成を抑え、痛みをやわらげ、熱を下げます。
- このお薬は、次の目的で服用いただけます。
 - 頭痛・月経痛(生理痛)・歯痛・抜歯後の疼痛・因眠痛・腰痛・関節痛・神経痛・筋肉痛・肩こり痛・耳痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・外傷痛の鎮痛
 - 悪寒・発熱時の解熱

ロキソニンの取り扱い説明書にも

「プロスタグランジンの生成を抑える」って書いてあるよ！

https://www.daiichisankyo-hc.co.jp/package_insert/pdf/loxonin-s_2.pdf

もっと根っこの部分で炎症物質ができるのを邪魔するのが、「ステロイド」

例えば、この薬だと

「プレドニゾロン吉草酸エステル酢酸エステル」が「ステロイド」だね。

(<https://jp.rohto.com/mediquick/>)



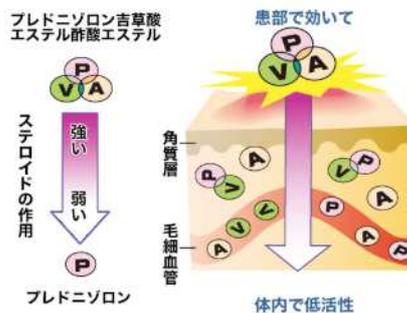
5 やっかいな手湿疹・かぶれに つの有効成分配合!

「メンソレータム® メディクイック®」は患部のつらい炎症や赤み・我慢できないかゆみを抑え、患部をしっかり殺菌しながら、効果を発揮します。炎症によく効くアンテドラッグステロイド「プレドニゾロン吉草酸エステル酢酸エステル」、Wのかゆみ止め成分「リドカイン」「クロタミトン」などを配合。つらいかゆみをしっかり抑え、効果的に症状を改善します。



? アンテドラッグって何?

ステロイドは非常によく効く成分として活用されていますが、かねてから、患部ではより効果が高く、患部以外では作用のおだやかなものが望まれてきました。そこで開発されたのがプレドニゾロン吉草酸エステル酢酸エステルなどのアンテドラッグステロイド成分。図のように患部で効果を発揮し、体内に吸収されると分解して、低活性の物質にかわります。このような性質の薬剤を、アンテドラッグといいます。



どうして「アンテドラッグ」の形にするのかは、後でホルモンのおはなしをすると分かるはず!

意味なく怖がって、かゆみを放置していてもいいことないよ!

ちゃんと休息するときには休息しないと、治りが遅くなっちゃうからね!